

一体型LEDベースライト iDシリーズ 40形

保管用

直付型黑板灯

本体品番 **NNFK (NNFKH) 90518**

- ・上記 () 内は加工品番です。以降、加工品番および特注品番の記載を省略します。
- ・本照明器具はパナソニック製iDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで性能を満足します。
- ・下記表以外のライトバーをご使用の場合は、ライトバーに同梱の説明書を参照してください。

適合ライトバー	昼白色 (5000K)	白色 (4000K)
69001m (省エネ、調光) タイプ	NNU603615	NNU603614
52001m (省エネ) タイプ	NNU603625	NNU603624
69001m (調光) タイプ	NNU602605	NNU602604
32001m (調光) タイプ	NNU502605	NNU502604
52001m タイプ	NNU601605	NNU601604
25001m タイプ	NNU401605	NNU401604

・下記組合せは、公共施設用照明器具型番となります。

公共施設用照明器具型番	組合せ品番	ライトバー品番	本体品番
LSR12-4500LM	直付XL918SFV	NNU601605	NNFK90518
LSR12-6200LM	直付XL918EFV	NNU602605	NNFK90518

(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- ライトバーを単独で使用しない。必ずパナソニック製iDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなす。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 天井取付専用ですので、壁面取付はしない。落下の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%) ・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用する、感電・火災の原因となります。
- 電源線には、ライトバー同梱の耐熱チューブをかぶせてご使用ください。感電・火災の原因となります。(69001mタイプ)

注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。(一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。) 光学性能に影響を与える場合があります。
- ライトバーのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサソルボンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。パネルの劣化・破損の原因となります。
- 電源線の器具間送り配線は、天井裏に電源線を戻して配線することを推奨します。エンドK0より器具内送りをする場合は、6900、52001mタイプはエコケーブル (EM-EE) をご使用ください。感電・火災の原因となります。

施工上のご注意

- ・ライトバーの取り付けには方向性があります。
- ・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もライトバーが薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側 (電圧側) にお取り付けください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)

施工上のご注意（続き）

・起動方式“LA”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約10%~100%に、起動方式“LT”の器具は、光出力を約25%~100%に変化させることができます。

■適合コントロール

適合コントロール	LA, LT
セパレートセルコン、インバータ蛍光灯用調光T/U；スーパーマーケットセルコン	○ 注1
ライトコントロール・信号線式（LED・インバータ蛍光灯用）（Hf側で使用）	○ 注2
ライトマネージャースト連続調光インバータ照明器具用ブースタ（Hf側で使用） ライトマネージャール+調光ボックス（Hf側で使用）	△ 注3

・適合コントロールは、当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については、適合コントロールの説明書をご確認ください。

・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。

※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。

ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。

注1) ライトコントロールによる消灯後も薄暗く発光する場合があります。

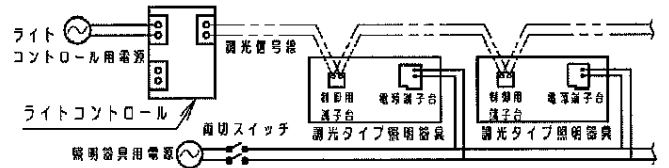
注2) ライトコントロール側スイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。

注3) ライトコントロールによる消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する場合はご注意ください。

■結線について

- ・制御線はCPEV線φ0.9又はφ1.2×1ペアです。
- ・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
- ・接地のない電源に接続する場合は、右図の結線をおすすめします。
- ・接地のない電源にライトコントロールのスイッチを介して接続した場合は、スイッチで消灯後もライトバーが薄暗く発光する場合があります。
- ・電源線は低圧屋内配線工事、制御線は弱電流配線工事が必要です。
- ・制御線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- ・電線管をご使用の場合は、電源線と制御線を同じ管内に収納しないでください。

＜結線事例＞ 接地極のない電源に接続する場合

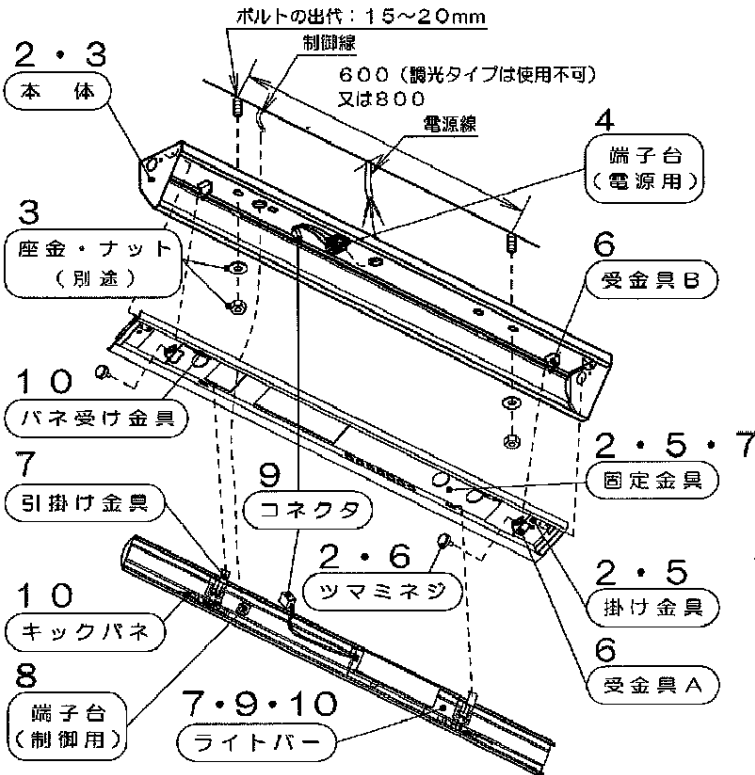


各部のなまえと取付方法



警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



3 本体の取付

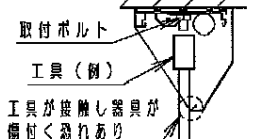
- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。エンドの電源KOを使用する場合は、必ず同梱の電源プッシング（φ26）を取付けてください。
- ・本体を取付ボルトで確実に取付ける。

（取付ボルト推奨トルク値：1.5N・m）

※連結施工の場合、“連結方法”（3ページ）参照。

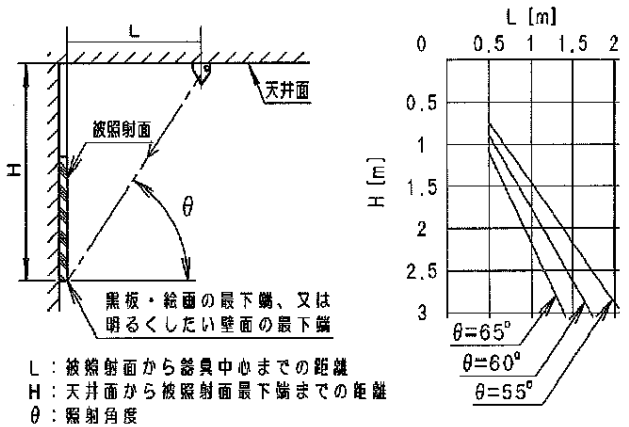
不備があると器具落下の原因となります。

注) 器具の構造上、取付ボルト締付時、使用される工具と器具が接触し器具を傷付ける恐れがあります。施工時は器具に布を被せる等し器具の傷・変形に注意してください。



＜器具の取付位置＞

- ・照射角度θは55°・60°・65°の3段階に調節できます。
- ・ツマミネジ締付位置は下図を参考にして固定金具の指示ラベルに合わせて締付けてください。

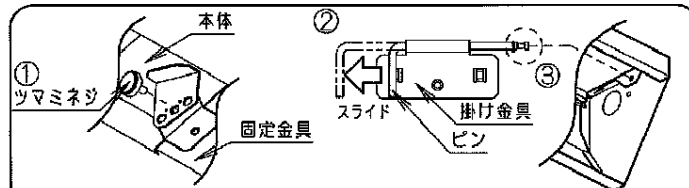


1 取付前の確認

- ・既設器具取替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。不備があると感電・火災の原因となります。
- ・器具質量（3.8kg：NNFK90518+ライトバー）に十分に耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。（取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。）不備があると器具落下の原因となります。

2 器具施工準備

- ・固定金具と本体を締結している、ツマミネジを外す（2ヶ所）。
- ・固定金具両端の掛け金具のピンを引き、固定金具を本体から取外す。



① ツマミネジを外す（2ヶ所）

② 固定金具両端の掛け金具ピンを器具内側に向かってスライドさせる

③ ピンを本体の穴から引き抜き固定金具を取外す

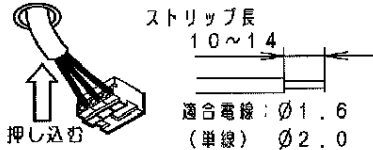
各部のなまえと取付方法（続き）

4 電源線・アース線の接続

- 耐熱チューブ（同梱）を電源線に被せる。
- （69001mの場合のみ）
- ※「耐熱チューブの取付けかた」（3ページ）参照。
- 電源線、アース線を端子台に確実に差し込む。
- D種（第3種）接地工事が必要。
- 端子台の最大送り容量は右表の通りです。

明るさタイプ	容量
69001mタイプ	12A
32001mタイプ	20A
52001mタイプ	11A
25001mタイプ	20A

注）電源線接続後、余分な電源線はライトバーとの当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。



5 固定金具の仮吊り

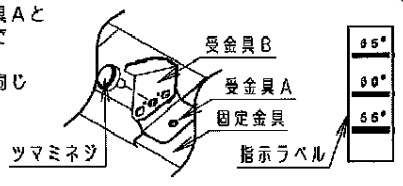
- 固定金具両端の掛け金具のピンを引き、本体内側の穴に差し込む
- （手順2-②を参照しピンを穴に差し込んでください）
- 取付が不完全な場合、固定金具落下の原因となります。

6 固定金具の固定

- ツマミネジに固定している座金の位置を確認する。
- ツマミネジ（2つ）を固定金具の受金具Aを通し、本体の受金具Bにネジ止める。（手順2-①の逆手順）



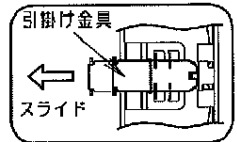
- 固定金具の角度を調整し、受金具Aと受金具Bの穴を合せツマミネジで固定してください
- 指示ラベルを確認し、必ず左右同じ角度の穴に取付けてください
- 左右異なる角度で取付けるとライトバーの破損・落下や照射面のムラの原因となります。



ツマミネジは確実に取付け、しっかり締付けてください
取付が不完全な場合、固定金具落下の原因となります。

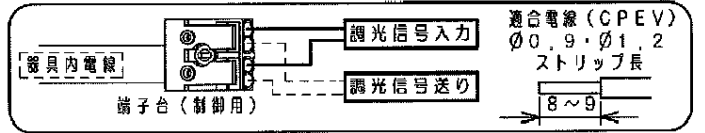
7 ライトバーの引掛け

- ライトバーの引掛け金具をスライドさせ、固定金具の角穴に片側ずつ確実に引掛ける。
- 取付が不完全な場合、ライトバー落下の原因となります。



8 制御線の接続（LA、LT方式の場合）

- 制御線を端子台（制御用）に確実に差し込む。
- 制御線に極性はありません。
- コントロールとの結線又は制御可能台数はコントロールの説明書をご確認ください。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

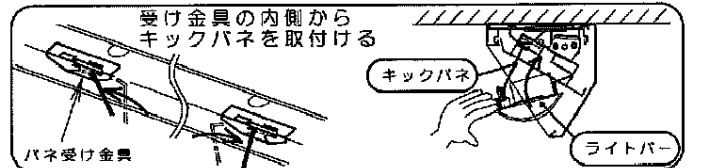


9 コネクタの接続

- 本体とライトバーのコネクタを確実に接続する。
- 「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。
- 接続が不完全な場合、火災の原因となります。

10 ライトバーの取付

- ライトバーのキックパネを固定金具のパネ受け金具に確実に取付ける。
- コネクタを挟まないようライトバーを固定金具内へ押し上げる。
- 不備がありますと、ライトバー落下の原因となります。

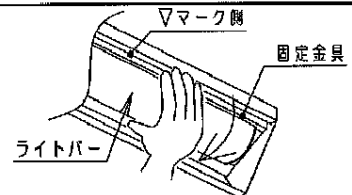


■ライトバーを取外す場合

警告

ライトバーの取付・取外しは、必ず電源を切る

- 本体の▽マーク側を、手でライトバーを引き下げる。工具でこじ開けますと、ライトバー破損の原因となります。
- キックパネを固定金具のパネ受け金具から外す。
- コネクタを外す。
- ライトバーの引掛け金具を固定金具から外す。



耐熱チューブの取付けかた

警告

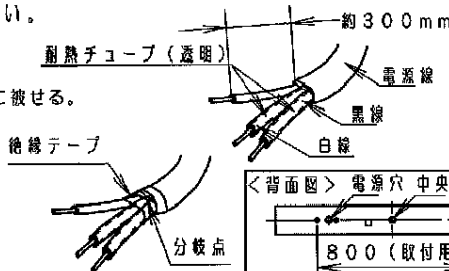
- 耐熱チューブは下記にしたがい確実に取付ける。不備がある場合、感電・火災の原因となります。
- 電源送り配線を行う場合は、電源線・送り線ともに取付ける。

注）分岐部分は天井裏にくりすようにしてください。

1 耐熱チューブの取付

- 電源線のシース部を剥く。（約300mm）
- 同梱の耐熱チューブ（透明）を電源線（黒・白）に被せる。

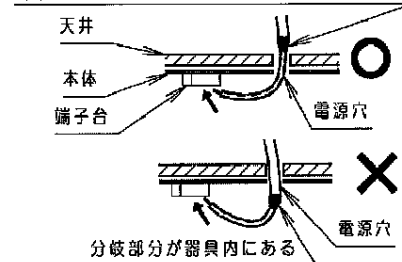
注）根元まできっちりと差し込んでください。
アース線への取付けは不要です。



2 分岐点の保護

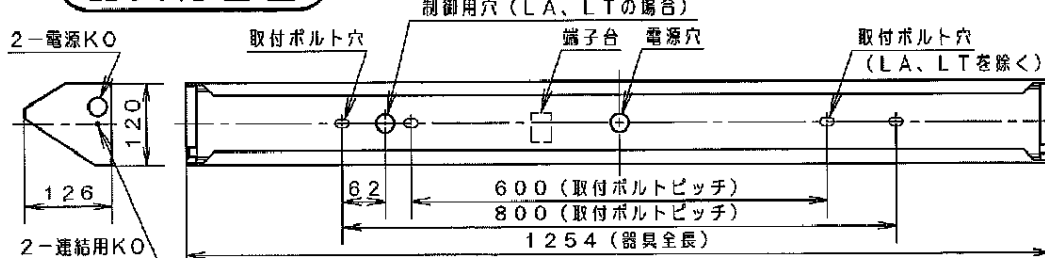
- 分岐点（保護チューブの被っていない箇所）に絶縁テープを巻き付け保護する。
- 絶縁テープを電源線（天井裏）に押し込む。

分岐点・余分な電線が器具外部に戻されている

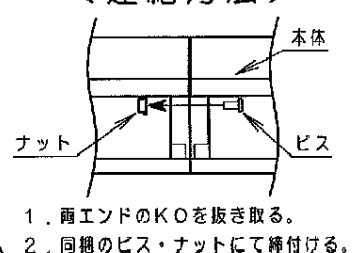


電源線を中央電源穴から引き込む場合には、耐熱チューブを半分（約150mm）に切断し、電源線のシース部を約150mm剥いて使用しても問題ありません。

器具背面図



＜連結方法＞



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 必ずパナソニック製LEDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用します。落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ライトバーを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。



注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号: CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

使用上のご注意

- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(ライトバー)を長時間直視しないでください。
 - ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
 - ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のライトバーでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
 - ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
 - ・ライトバーの品種により始動時間が異なる場合があります。
 - ・点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。静かな環境でご使用の場合、きしみ音が気になる場合があります。このような場合は直管LED等のプラスチック製カバーのないタイプをお勧めします。
- LA/LT方式の場合
- ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
 - ・コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。低い調光域では段調光のように動作する場合があります。調光した状態でコントロールの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから設定の調光状態になる場合があります。適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もライトバーが薄暗く発光する場合があります。

保証について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しております。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- ・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



- 感電のおそれあり。お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
- パネル破損のおそれあり。ライトバーのパネルは樹脂製です。取扱いに注意してください。
- やけどのおそれあり。点灯中や消灯直後はライトバーやその周辺をさわらないこと。

■ 定格

- ・ライトバーに同梱の説明書を参照してください。